

就職経験談

卒業生氏名 : ピョー ティンザー モン
卒業年度 : 2024年3月
卒業学科 : 中部学院大学短期大学部 社会福祉学科

私は、中部学院大学短期大学部社会福祉学科の介護福祉コースを今年の3月に卒業した留学生です。私には、日本で就職して生活したいという夢があり、その方法を探していました。そんな時、岐阜県で介護福祉士修学資金を利用する制度があることを知り、中部学院大学短期大学部に入学することになりました。入学した頃は、母国語ではなくて日本語での授業なので理解できるだろうかと、不安でいっぱいでした。しかし、先生方は分かりやすい日本語で授業をしてくださいましたので、問題なく勉強を進めることができました。

2年生になると、グループ学習や確認テスト、国家試験対策講座や模擬試験など国家試験に向けての対策授業がたくさんあり大変でしたが、そのおかげで国家試験を心配なく受けることができました。また、キャリア支援センターや留学性支援課から、就職活動や内定が決まるまでいろいろなアドバイスや相談にのってもらえたことも心強かったです。私は今アルバイトしている「特別養護老人ホーム」で就職することになりました。

介護福祉士は利用者と関わる“対人関係”が必要な仕事なので、コミュニケーション技術が重要です。そして、支援の際に利用者様が協力的になってくれるように良好な関係を築くことも必要です。そのため、まず利用者様と接するとき、話しを肯定否定せずに耳を傾けて聴くこと、相手の感情などをありのまま受け止めることや相手の立場に立って気持ちに寄り添うことが大切だと思います。私は、介護福祉士として大学で習った介護の知識や技術、介護実習での経験を活かして社会のために働きたいと思っています。

そして、最後に、介護職は利用者様の残りの人生を、自分らしく過ごせるように支援するやりがいがある仕事であることを後輩たちに伝えたいです。